

第2回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：令和元年11月22日（金）10時00分～

場 所：湖西市民活動センター 2F大会議室

出席者：15人

委員長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
副委員長	松本 光司	湖西市自治会連合会
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会
委員	安間 明美（欠席）	湖西市社会福祉協議会事務局
委員	浮海 恵理	湖西市商工会
委員	近藤 うた子（欠席）	新居町商工会
委員	河邊 登	公募市民
委員	藤井 早苗	公募市民
オブザーバー	桑原 靖宗	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局
オブザーバー	紅林 哲	静岡県地域交通課
オブザーバー	辻村 文美子	湖西市役所学校教育課
事務局	安間 祐輔	遠州鉄道(株)運輸業務部
事務局	榎原 正之	遠州タクシー(株)
事務局	良知 正規	浜松バス(株)
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 課長代理
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係

配付資料： 会議次第

資料1： 評価の取りまとめ方（本日の進め方）

資料2： 湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書 取りまとめ一覧

資料3： 今年度の取り組みに関する評価及び来年度の取組提案（事務局案）

1 開会

2 委員長挨拶

本日の内容ですが、前回の第1回バス運行評価改善委員会にてご説明いただいた内容に従って皆様で評価の妥当性をご確認いただきました。その結果を踏まえて事務局から評価の案をいただいておりますので、皆様と確認させていただきながら、内容を確定させていきたいと思っております。引き続きまして、次年度以降の改善案も見させていただくこととなっておりますので、ご忌憚のないご発言をいただきながら進めてまいりたいと思っております。宜しくお願いします。

3 議題

(1) 評価の取りまとめ方（本日の進め方）

<事務局>

- 資料説明（資料1）
- 特段の意見なし

(2) 湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書 取りまとめ一覧

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<委員>（事業名：公共交通軸）（事業内容：県境を越える新設路線）

- 豊鉄バス二川線の新所原駅乗入と具体的に書いてありますけど、現在どういったルートを走っていますか？

<事務局>

- イメージとしましては、豊橋駅を出発し、県境にあります一里山の近くのコンビニから更に50～100mへ東へ行った一号線沿いにバス停があります。そこから、白須賀を通過して新所原駅への乗入はいかがでしょうかという内容でした。

<委員>（事業名：乗継環境の整備）（事業内容：乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備）

- 自己評価という長い文章は私が出しましたが、私としては評価が違うということではなく、評価できないということです。

<委員長>

- それでは、皆様と共に順番に評価を確定させるために、皆様と意見を交換していきたいと思っております。意見が一致しているところについては簡単に確認だけでいきたいと思っております。意見が割れているところは集中的に行いたいと思っております。

・事業名：公共交通軸

→ 意見なし

・事業名：拠点内巡回・拠点アクセス：コーちゃんバス

→ 意見なし

・事業名：地域フィーダー

→ <委員長> 「～検討中」ではなく、「検討した」ではないでしょうか。

<事務局> ご指摘のとおり修正します。

<委員> 事業名ですが、地域フィーダーとデマンド型乗合タクシーの言葉の違いはなんですか？

<事務局> 「地域フィーダー」は造語になり、定時停路線又はデマンド型交通のいずれかを市民の方と連携しながら決める交通手段であり、市民の方と協議した結果、「デマンド型乗合タクシー」の運行を決定しました。

<委員> 評価の部分にデマンド型を導入したという部分を入れた方が良いと思います。

<委員長> 表現の問題だと思います。最終的に何を導入したかが分かるように追記すれば良いかと思います。

<委員長> 地域フィーダーについては、デマンド型乗合タクシー導入した形の表現に追記する形で修正するというところでよろしいでしょうか。（意見なし）

・事業名：タクシー

→ <委員> 過去には、他社も入っていたが現在は1社しかいない。運行に縄張りがあると聞いた。

<事務局> 運行事業者の運行地域の申請次第だと認識しています。

<ワザバー> 道路運送法上、他市や他県での運行については、運輸局へ許可申請を行わなければならない形となっております。

・事業名：乗継環境の整備

→ <委員> ふれあいバスは均一料金だった。長時間乗っても同じ料金。今回も大勢の方が乗ってくれることで利便性が上がるのであれば、均一料金でも良いのではと思います。（実際は、運賃は無料）

<事務局> 均一料金が良いのか、ゾーン制が良いのか、現在運賃体系の見直しの中で検討を行っております。

<委員長> 今年度の評価の中で、情報提供だけでは少しムリがあると思います。来年度の取組み提案の中でもう少し追記した方が宜しいのではと思います。

<事務局> 修正させていただきます。なお、念のため、今年度の10月のダイヤ改正の際にも、JR、天浜線、バス同士との乗り継ぎ、可能な限りの検討はバス事業者とも行っております。この内容も今年度の評価に追記させていただければと思います。

・事業名：公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業

- <委員> 安価でも良いから地域にあった時刻マップをダイジェスト版にして、実用的なマップもあっては良いのではと思っています。
- <事務局> 検討させていただければと思います。
- <委員> 地域毎の時刻表について、行き先は個人個人で違うと思います。なので、今の時刻表はあっても良いと思います。
- <委員長> 三段階評価の判断方法について、統一性をもたせた方が良いのではないのでしょうか。
- <委員長> 公共交通マップの企画・作成・見直しをA→B、バス利用啓発ポスターへの企画。作成・見直しをA→Bに変更でよろしいでしょうか。(意見なし)

・事業名：公共交通の利用を誘導する事業

- <委員> 天竜浜名湖線の小学校入学祝記念乗車券について、今年度と同様事業を行わないと決めつけることに違和感を感じます。教育の観点上とても有意義な部分になりますので、予算計上も含めて継続する方向をお願いしたいと思います。
- <事務局> 天浜線の項目ではありますが、公共交通という部分で見ますと、コーちゃんバスでは50円バスもやっており、子と親の方にも乗っていただけるような方法を検討していきたいと思います。次年度の取組提案の内容については、前向きな文章に修正します。
- <委員> 老人クラブの行事の際に貸切バスを利用します。その際にコーちゃんバスは活用できないですか？
- <事務局> 運行している車両については、運行事業者の所有物となっております。土日や空いてる時間での利用について、市は判断できかねます。
- <事務局> 現在乗合バスの運行をしている車両を貸切バスとして利用する場合は、運輸局への届け出が必要となります。実際には、社会福祉協議会が開催していたイベントにシャトルバスとして使用された過去があります。ただし、費用については、法律上料金が決まっておりますので、値引き等については、できない状況となっております。

・事業名：多様な主体による取り組み

- 意見なし

・事業名：拠点内巡回・拠点アクセス（コーちゃんバス路線別評価）

- 意見なし

(3) 評価を踏まえた改善策の検討

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<委員長>

- 議題2の際に、来年度の取組提案の部分も修正があったと思います。また、路線別の取組提案の最後のカッコ書きの部分はいらないのではと思います。

<事務局>

- ここでご提案があります。この後、事務局の方で今回の議題でご意見がありました箇所を修正します。その後、委員長に確認いただき、そのあとに委員の皆様へ書面にてご確認いただきます。そこでいただき再度事務局にて修正し、委員長にご確認いただいた後、完成版を皆様へ送付する流れとさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。
- 意見なし

4 その他

<事務局>

- 第3回の開催はありません。先ほど事務局からの提案のとおり、修正したものを後日書面にて確認をお願いします。

閉会